



計画を推進するための各主体の役割

本計画に掲げた各施策を推進していくためには、市民・地域、各種スポーツ団体、学校、行政などが相互に連携・協力しながら、自らがスポーツ振興を図る主体として、それぞれの果たすべき役割に応じた取り組みを進めていく必要があります。

各主体が以下のような役割を果たすことで、効果的な計画の推進を図ります。

(1) 市民・地域の役割

一人ひとりの市民には、鯖江市におけるスポーツ振興の主役として、ライフステージに応じたスポーツ活動に積極的に参画していくことが大切です。

これまでスポーツを行っていなかった市民には、身近なところで身体を動かすことや、「みる」スポーツ、「支える」スポーツへの参画も含めて、スポーツと触れ合うための一歩を踏み出すことが必要です。

これまでもスポーツを行っていた市民には、より自主的にスポーツを行うとともに、スポーツを通じて、生活や地域を豊かにすることを意識することが必要です。

地域レベルでは、地域の状況に応じた特色あるスポーツ・レクリエーション活動の開催や、スポーツを通じた地域間交流を促進していき、また学校や行政、各種スポーツ団体と連携し、地域におけるスポーツの振興を図ることが重要です。

(2) 各種スポーツ団体などの役割

それぞれの団体の持つノウハウを活用し、多世代が楽しめる各種スポーツ教室の開催やイベントの開催など、市民に多様なスポーツの機会を提供することが必要です。

また、各団体がそれぞれの役割や今後の活動方針を明確にし、各種スポーツ団体同士が横の連携を強化していくことが必要です。

(3) 学校の役割

体育の授業や部活動、休み時間における体操、食育など、学校教育活動全体を通して、子どもの体力向上を図るとともに、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の育成に努めます。

また、体操や駅伝などの鯖江市を代表するスポーツの振興、生涯スポーツに親しむひとづくりに繋がるような取り組みの充実を図ります。

更に、現在も実施している学校体育施設の地域への開放をより一層推進するとともに、総合型地域スポーツクラブやスポーツ少年団など、地域が行うスポーツ活動に協力します。

(4) 鯖江市の役割

計画の基本理念「全ての市民が豊かさを実感できる鯖江型の生涯スポーツ社会の実現」に向けて、スポーツ課を中心として庁内各課との連携を図り、地域の特性に応じたきめ細かな施策を推進します。

スポーツ施設の適正な管理・運営、老朽化したスポーツ施設の改修などを行うとともに、各種スポーツ関係団体を育成、支援します。

スポーツに関する情報の集約化、効果的な発信、およびスポーツに関する意識の啓発により、市民のスポーツ活動を促進します。